



第1章

族長たちとその時代の人々の祈り

セツ



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編） 49～52ページ
- 主な引用箇所 創世記4章26節、列王記第一18章26節、36～38節



質問

- 1 エノシュという言葉にはどのような意味がありますか？（50ページ参照）
- 2 主の御名を呼ぶとは礼拝するという意味です。セツの子たちは、社会が乱れていく中で、主を礼拝する大切さを悟ります。あなたはどのような時、礼拝の大切さを感じますか？個人的な日々の礼拝をささげるために、あなたが工夫していることがありますか？
- 3 セツやエノシュの祈りの姿に、どのような祈りの原則を発見できますか？（50ページ参照）
- 4 「主（ヤハウェ）」ということばにはどのような意味がありますか？（50～51ページ参照）もともと家族や知人が信じていた神が、自分自身の神でもあるとあなたが気づいたのにはどんなきっかけがありましたか？
- 5 あなたは祈りを通して信仰上の刷新が起こったことがありますか。
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



主よ。日々の忙しさの中にあってもあなたを呼び求める礼拝を毎日大切にすることができるように助けてください。私の真の必要を教え、信仰を刷新してくださるよう。